

JTTA Spring Conference 2025 (Preliminary) Program

2025年2月8日(土)～9日(日)

(注)題目、演題名は全て仮称です。

(注)氏名は全て敬称略です。

(注)講演やシンポジウムの開催日時は、以下のプログラムの記載順と関係ありません。

特別講演 次世代医療基盤法、データ二次利用、ライフデータイニシアティブの現状

- 京都大学・宮崎大学・ライフデータイニシアティブ 吉原博幸

診療情報連携の先駆者 吉原博幸先生より、次世代医療基盤法で進む診療情報の二次利用の最新状況をご講演いただきます。

ワークショップ 医療と介護を包むサイバーセキュリティ

- 厚生労働科学研究による介護事業者のサイバーセキュリティ実態調査
- 医療のサイバーセキュリティと医療 DX UP-TO-DATE (日本遠隔医療学会 近藤博史)
- JPCERT/CC から医療情報の世界への最新のサイバーセキュリティ情報
- 日本遠隔医療学会によるサイバーセキュリティと医療 DX の研修制度の検討 (日本遠隔医療学会 長谷川高志)

医療 DX とサイバーセキュリティについて、学術大会やスプリングカンファレンスの度に状況や視点を示し続けてきました。2024 年度の最新の活動として介護分野に発展する取り組みが始まりました。医療と介護では違うと思うかも知れませんが、クラウド電子カルテやオンライン診療など小規模な医療機関での取り組みが多く、介護ではクラウド上で様々な介護情報の共有や活用があり、情報環境としてはほぼ同等の世界が広がっています。またデジタルに関する知識を有する利用者が多いことも共通です。そこで介護事業者のサイバーセキュリティに関する厚生労働科学研究を始め、JPCERT コーディネーションセンターなどサイバー世界の専門家が見たサイバーセキュリティの現状、医療 DX やサイバーセキュリティの最新視点をご報告します。

日本遠隔医療学会では、医療 DX やサイバーセキュリティについて、学会としての公式活動も計画しており、その計画状況や最初のイベント(研修会)などをご案内します。

AMED 研究事業で活躍する日本遠隔医療学会の研究者、最新動向

- 遠隔心臓リハビリテーション (榊原記念病院 中山敦子)
- 遠隔 ICU (横浜市立大学附属病院 高木俊介)

AMED: 国立研究開発法人日本医療研究開発機構の研究事業は、様々な先進的課題を取り上げて、素晴らしい成果を生み出しています。日本遠隔医療学会も、会員である研究者による事業の受託や幹部会員のプログラムオフィサー就任など、活躍しています。そのような研究課題からの二件の先進的研究の成果を報告します。

デジタルセラピューティクス、教育講演 と 最新の市場動向

- 教育講演 (金沢大学 野村章洋)
- 最新の市場動向 (株式会社 CureApp 佐竹晃太)

デジタル治療:DTx は、慢性疾患管理をはじめとする様々な治療手段に関するプログラム医療機器 (SaMD) として大きく注目されています。基本的な知識や研究動向を学ぶ場は多くありません。そこで第一人者の野村章洋先生に、基本から学ぶ場を設けました。

続けて、日本初の保険収載された治療アプリを市場に出した CureApp の佐竹晃太先生から製品や市場動向について、最新状況を教えていただきます。

PHR 推進を考える、睡眠分野ユースケースに於ける取り組みから

- PHR の事業者集団からの視点 (PHR サービス事業協会)
- PHR 製品やサービスからの視点 (医療機器提供企業)
- ディスカッション

SC2024 からスタートした PHR の社会的推進の課題を考える場について、SC2025 では CPAP 治療デバイスのユースケースから考えて行きます。CPAP は遠隔モニタリングで知られていますが、デバイスでは生体情報、機器の運転情報に加えて、患者の生活情報も収集して、医学管理に使い、治療効果のエビデンスがあります。これを PHR のユースケースとして、推進に関する議論を進めます。

日本遠隔医療学会報告、社会保険委員会と普及委員会の令和 6 年度の活動

- 令和 6 年度診療報酬のレビュー 日本遠隔医療学会会員により推進された報酬の紹介 (看護師等遠隔診療補助加算、遠隔 ICU、情報通信機器を用いた精神療法、CPAP のオンライン診療) (社会保険委員会 委員長)
- 今後の診療報酬の要望書作成のための、学会間連携に関する手順の解説について (社会保険委員会 委員長)
- 学会による診療報酬の要望書作成の際に注意事項の資料公開と解説について (社会保険委員会 委員長)
- 禁煙推進学術ネットワークの紹介、第 7 回禁煙推進学術ネットワーク学術会議の案内 (普及委員会 委員長)

令和 6 年度も日本遠隔医療学会は様々な外部活動に従事しました。大きなトピックとして令和 6 年度診療報酬改定に於ける遠隔医療に関する様々な評価の拡大があります。その概要や背景にある事情など、重要な情報を紹介します。

昨年 10 月移以降、令和 8 年度診療報酬改定に向けて諸学会が活動を開始しました。日本遠隔医療学会から他学会に対して重要な支援を提供する場合があります。協力活動を公平公正かつオープンに実施できるよう、手続を定めましたので、説明します。できる診療報酬が増えた。また各学会が診療報酬を要望する際に、要望書に示すべき重要な情報も解説します。

日本遠隔医療学会は禁煙推進にも積極的に携わっています。医学関係学会、歯学関係学会の連合体である一般社団法人禁煙推進学術ネットワークに参加しており、その中で同法人理事、禁煙推進情報 AI 化委員会の委員長を派遣しています。また第 7 回禁煙推進学術ネットワーク学術会議の大会長も務めます。その活動状況を報告します。

以上